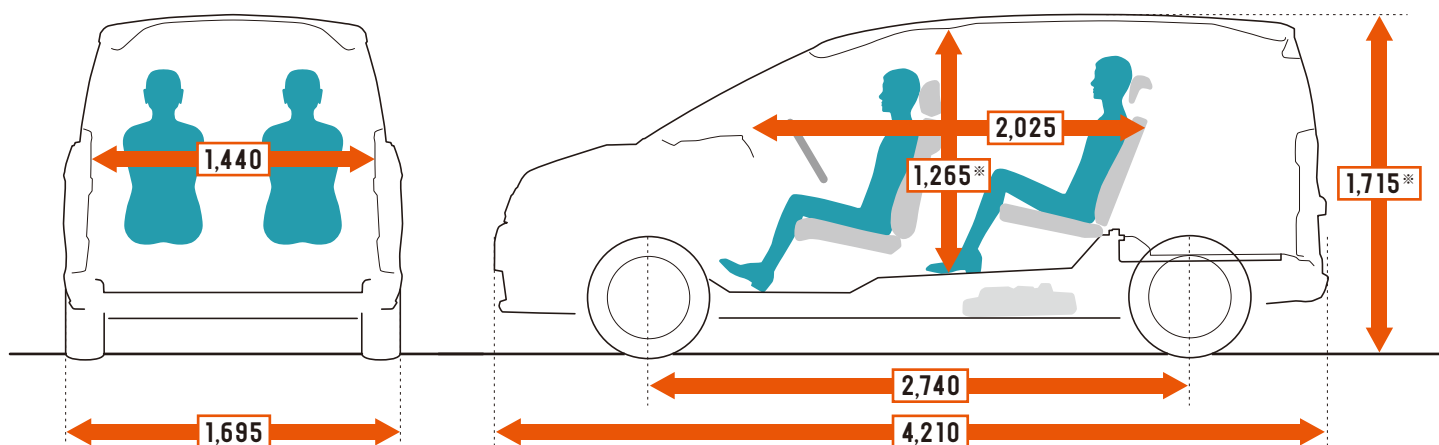


扱いやすいコンパクトボディに、広い空間と優れた乗降性を実現。



※スカイルーフ装着車を除くFF車 単位:mm

都市の狭い駐車場でも、野山の細い道でも扱いやすい、コンパクトなボディサイズ。

ゆとりの空間を持ちながらも、全長4,210mm、全幅1,695mm、全高1,715mm*のコンパクトなボディサイズを実現。狭い駐車場や路地でも扱いやすく、細い道でもスムーズに運転できます。

※スカイルーフ装着車を除くFF車



狭い曲がり角も操作しやすい、最小回転半径5.2mの取り回し性。

ゆとりの空間を生み出す2,740mmのロングホイールベースでありながら、エンジンなどのコンパクト化によってフロントノーズの短縮化やタイヤ切れ角の充分な確保が可能になり、最小回転半径5.2mを実現。フロントの左右コーナーを絞り込んだボディ形状や、低速時に軽い力でステアリング操作ができるEPS(電動パワーステアリング)と合わせ、優れた取り回し性を発揮します。



最小回転半径
5.2m

人はゆったり、荷物はたっぷり。 Honda独自の低床・低重心パッケージ。

Honda独自の技術、低床・低重心パッケージによって、薄型燃料タンクを後席下に配置して床下構造を工夫するなど、低くてフラットなキャビンフロアを実現。室内高1,265mm*を確保し、前席と後席のスムーズな車内移動を可能にしています。また、コンパクトに設計されたパワートレインやサスペンションなどを採用することで、全長4,210mmのコンパクトボディでありながら、室内長2,025mmと室内幅1,440mmを実現し、大きなゆとりを確保しています。

※スカイルーフ非装着車

子供やお年寄りでも無理なく乗り降りできる、ワンステップフロア。

低床フロアの実現によって、後席の床面地上高を390mm(FF車)の低さに設定。これにより、ステップに段差を設けることなくワンステップでの乗降を可能にしました。しかも、手の届きやすい位置には大型のアシストグリップが設置されているので、小さな子供やお年寄りでも無理なく乗り降りできます。また、ワンステップフロアを実現したことで、後席左右の床面をドアサイドまでフラットにでき、足元のスペースをより広く確保しています。

数値はHonda測定値



狭い場所でも乗り降りしやすい、大きく開く両側スライドドア。

開口幅600mmを確保した、大きく開くスライドドア。壁際や狭い駐車場などでの乗り降りも容易に行えます。また、タイプによりパワースライドドアを装備。キーレスエントリーシステムや運転席のスイッチで開閉でき、荷物を抱えているときなどに重宝します。

数値はHonda測定値 ■タイプ別設定については、カタログをご参照ください。